

子どもの状況

さいたまチャイルドライン報告

2023年度

さいたまチャイルドラインのデータから



(認定) 特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

はじめに

平素より、子どもたちへの広報カードの配布・ポスターの掲示にご協力を賜り、感謝申し上げます。

2023年度の年間着信データから、子どもたちがかけてくる事柄や状況等のご報告を申し上げます。

この報告書は、埼玉県自殺対策強化補助金を受けて作成しております。

チャイルドラインは、全国39都道府県で活動する電話開設団体の連携・協働により運営されています。さいたまチャイルドラインは、全国の子どもたちから2023年度は年間で8,284件の電話相談と1,762件のチャット相談に対応しました。この報告書では、主に全国からの発信によるさいたまチャイルドラインの年間受信数のデータに基づき作成しています。

全国のチャイルドラインで対応された埼玉県内からの電話のアクセス数は19,446件、着信数は、8,760件（共にNTTトラヒック調査の確定値）ですが、会話が成立した件数はその内2,493件です。全ての子どもたちの声を受けとるには、ほど遠い状況です。子どもたちの電話離れが進んでいるとはいえ、生の声での対応を求める子どもたちの期待を裏切らないよう電話開設は大切な事業になっています。

子どもたちの悩み事や困っていること、どんな気持ちを訴えているのかなど、データから見えてくることがあるかと思えます。この報告書をご一読いただき、参考にしていただけましたら幸いです。

【特集】日本のチャイルドラインはいじめ問題で始まりました。子どものときにいじめを受けることで心身ともに傷が残ります。一時的なものではなく、その後も長年にわたり子どもにとって影響を及ぼし続けることがわかっています。今回の報告書では自立支援ルームよりいじめから見えてくるものを「特集」として掲載いたしました。ご一読ください。

(認定) 特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン
代表理事 太田 久美・鈴木 愛

【特集】

日本のチャイルドラインの発生は、 いじめによる自死を防ぎ命を守りたい大人の願いから

報告 = 金子由美子（さいたまチャイルドライン理事）

続発するいじめが原因の子どもたちの自殺

子どもの命を守りたいと願う全国の大人たち

1999年チャイルドライン始まる・現在 39 都道府県 69 団体による協働で運営

長年、養護教諭として中学校に努め、心とからだの健康教育に取り組み、思春期真只中の中学生のニーズに応えるための性教育実践を積み重ねてきました。2016年より、NPO 法人さいたまユースサポートネットの副代表に就き、生活困窮者自立支援法に基づき開所した、さいたま市の学習支援教室の運営責任者となり、現在は、15歳から39歳の若者の居場所から自立の支援をするための、さいたま市若者自立支援ルーム（以下、ルーム）の所長をしています。ルームは、子ども、若者たち（以下、利用者）が、月曜日から金曜日の平日10時から17時まで、毎日20人から30人が来所しています。不登校、ひきこもり、発達障がい、障がいなどを抱え、さらに、虐待、性虐待、ネグレクト、ヤングケアラー、貧困といった家庭や社会の課題が層のように重なる利用者が大半です。スタッフには、公認心理士、社会福祉士、教員経験者などを配置し、利用者にとって安心できる居場所づくりと、信頼できるおとなとしての関わりを心掛けています。

【いじめのアフターケア】

自立支援ルームの利用者は、様々なトラウマを抱えているため、スタッフに対して、暴言、セクハラ言動、器物破損などの「試し行動」を繰り返すこともあります。ていねいに関わり続けることで次第に落ち着きますが、根気も体力も時間もかかります。甘えの兆候、面談の申し入れなど、スタッフを信用し始めた利用者はようやく、小学校、中学校、高校での「いじめ」の体験を話してくれます。どれをとっても悲惨であり、特に思春期の子ども間の「性的いじめ」は、「よく生きてくれたね」と言うほど、壮絶です。それ以上に、かれらはスタッフに訴えたいことがあると言うのです。それは、「その時、おとなは助けてくれなかった」という事実です。放置された失望、虚無、怨念、敵意などが、これまでなんらケアされず小、中、高を卒業すると同時に「なかった」ことにされて、次のステージに送り出されてしまっているのです。

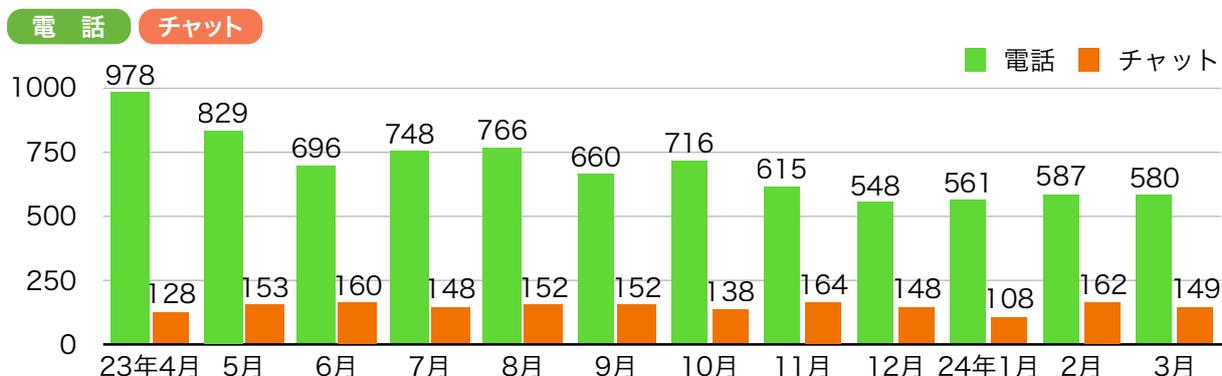
- ・「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（2023年10月3日文科科学省発表）
- ・小中学校における不登校者数が過去最多の29万9,048人（2022年度）
- ・いじめの認知件数小中高・特別支援学校で68万1,948件……前年度比10.8%増（過去最多）
- ・児童生徒1,000人あたりの認知件数は53.3件（前年度47.7件）
- ・重大事態となったいじめの件数は923件（前年度706件で217件・30.7%増加）

【いじめは一生に関わる深い傷を残す】

いじめに耐える間に、感情を押し殺して生きる術を身に着けてしまった利用者もいます。「笑う」表情がぎこちなく、挙動不審に見えてしまうこともあります。人を信用したとしても、相槌や頷きのタイミングが計れず、意思や感情をうまく伝えられないことに苦労しています。思い通りにならず、パニックに陥り、反抗的や攻撃的な態度をとってしまうこともあります。進学先の学校、バイトや就労、友人や恋愛関係も、ことごとく上手くいかず、疲れ果てて、ひきこもり再発したり、メンタルに不調に陥ることも少なくありません。いじめの被害者は、病気やケガのダメージと同様に、回復するまで治療、アフターケア、リハビリテーション、さらに生活管理まで含めた健康管理を行うことが、必要だと思います。さらに、社会復帰のためのプログラムの設定など、新たな社会的システムの構築を社会提起しなければならないことを、ルームの利用者とのかかわりの中で痛切に感じる昨今です。

1. さいたまチャイルドラインの年間受信数の推移

チャイルドラインは全国 68 団体が協働して行っている事業です。この報告書に掲載するデータは、さいたまチャイルドラインが全国の子どもたちから受けた受信数をもとにしています。



2. 受信時間帯

全国統一番号フリーダイヤルの開設…
毎日午後4時～9時(12月29日～1月3日を除く)

さいたまチャイルドラインの開設は

電話…毎週日曜から木曜の午後4時～9時 チャット…毎週水曜から土曜の午後4時～9時



カード配布

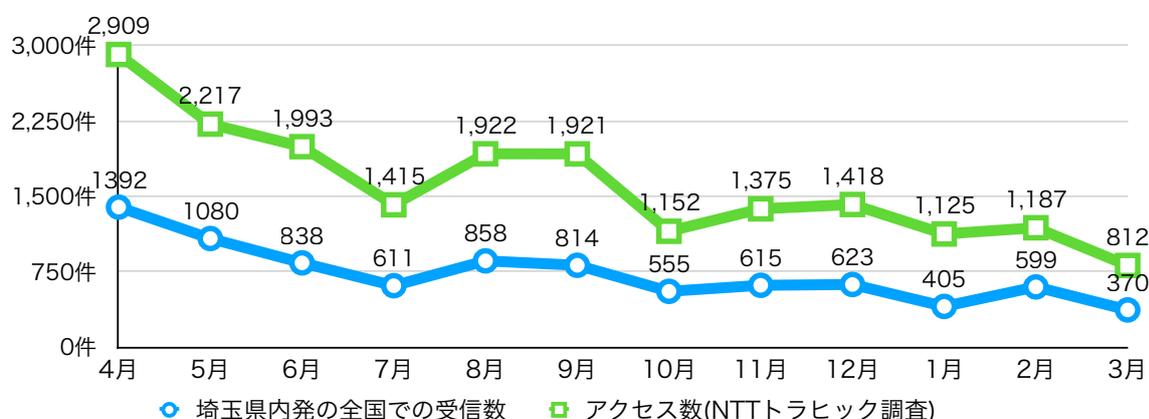
カード配布を行っています。 県内公立・私立・国立の学校約1,535校対象 カード枚数859,540枚

配布月	配布先	学校数・配布カード数
7月	さいたま市・インターナショナルスクール	172校・125,700枚
8月	国立・県立・私立	312校・200,520枚
10月	川口市・鴻巣市・上尾市・草加市・蕨市・戸田市・朝霞市・志木市・和光市・新座市・桶川市・北本市・伊奈町	293校・180,360枚
11月	川越市・所沢市・飯能市・東松山市・狭山市・入間市・富士見市・坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・ふじみ野市・三芳町・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村・熊谷市	370校・177,520枚
12月	秩父市・本庄市・深谷市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・美里町・神川町・上里町・寄居町・行田市・加須市・春日部市・羽生市・越谷市・久喜市・八潮市・三郷市・蓮田市・幸手市・吉川町・白岡市・宮代市・杉戸町・松伏町	388校・175,440枚

3. 埼玉県内からの電話アクセス数と電話受信数

アクセス数 (NTTトラヒック調査)	埼玉県内の子どもがチャイルドラインに 電話した数（繋がらなかった電話を含む）	19,446 回
着信数 A	さいたまチャイルドライン（自団体）が 受信した数	8,284 回
着信数 B	埼玉県内発信の電話を全国の協働により 受信した数	8,760 回
着信率	着信数 B / アクセス数	45.0%

電話アクセス数と埼玉県内発の全国での受信数 **電話**



基地局ごとの月別アクセス数 **電話**

電話は NTT の基地局を経由して着信するため、どの地域からアクセスし、着信したかが分かります。スマートフォン（携帯電話）は全て浦和局を経由しているため、浦和局が大変多くなっています。下記の表は 着信した数（アクセス数）

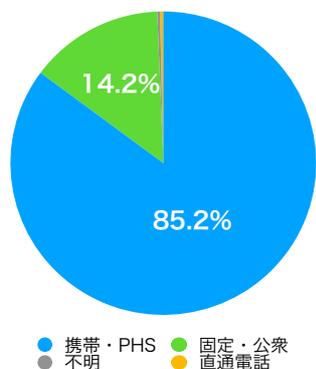
基地局 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
所沢	7 (16)	1 (3)	2 (4)	1 (5)	3 (4)	3 (7)	0 (8)	8 (20)	23 (67)	7 (15)	3 (7)	7 (10)	65 (166)
飯能	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (8)	1 (1)	3 (4)	1 (1)	8 (15)
久喜	2 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	1 (3)	0 (0)	3 (8)	2 (6)	2 (2)	1 (1)	11 (35)
川口	3 (7)	39 (92)	34 (73)	5 (10)	47 (160)	23 (69)	9 (48)	54 (104)	3 (14)	3 (20)	9 (14)	3 (8)	232 (619)
熊谷	0 (3)	0 (3)	4 (12)	1 (1)	8 (10)	1 (2)	3 (9)	3 (7)	19 (40)	1 (5)	2 (4)	2 (6)	44 (102)
浦和	1371 (2842)	1030 (2099)	784 (1868)	595 (1373)	794 (1735)	786 (1834)	537 (1070)	528 (1200)	534 (1190)	379 (1018)	572 (1134)	349 (769)	8259 (18132)
草加	5 (8)	2 (2)	1 (2)	1 (2)	3 (7)	0 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (16)	0 (2)	1 (5)	0 (4)	20 (52)
川越	2 (10)	8 (15)	10 (27)	6 (22)	1 (2)	1 (6)	3 (12)	16 (35)	29 (65)	10 (55)	7 (16)	3 (7)	96 (272)
東松山	1 (2)	0 (2)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	5 (8)	3 (7)	1 (2)	0 (1)	4 (6)	16 (31)
秩父	1 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (12)
本庄	0 (0)	0 (1)	2 (5)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (10)

4. 発信端末、会話成立状況と年齢・性別

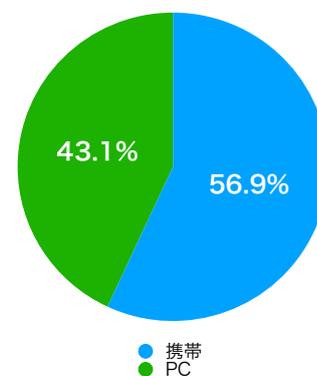
*性別について：男女だけではないという意識が社会で認知されつつある今、性別そのものが不要という意見に対し「どちらにもあてはめられない」（ノンバイナリー）が追加されました。

*「その他」は、不明・どちらにも当てはめられないの合計です。

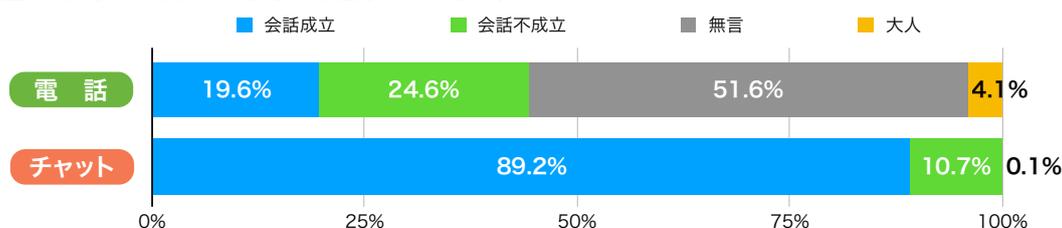
発信端末 電話



発信端末 チャット

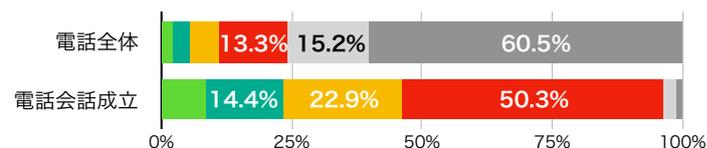


会話成立状況（大人と思われるものが含まれています）

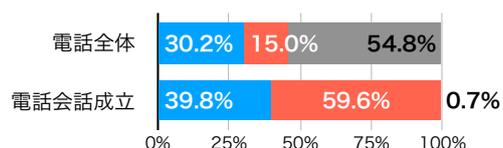


会話成立／年齢・性別の割合（大人を削除したデータ）

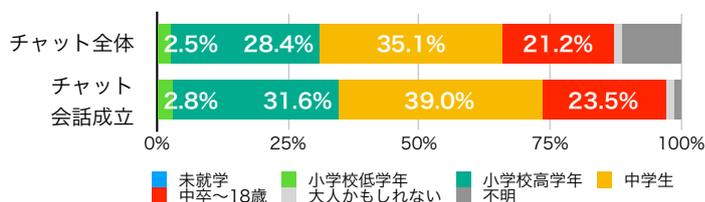
電話 年齢別



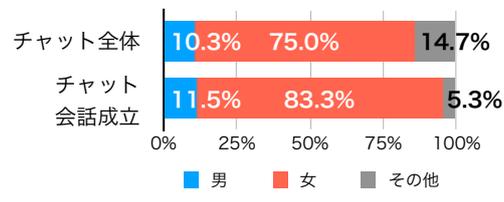
電話 性別



チャット 年齢別



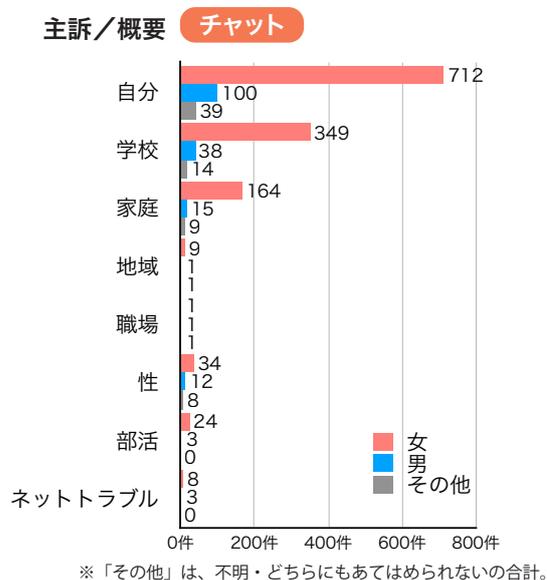
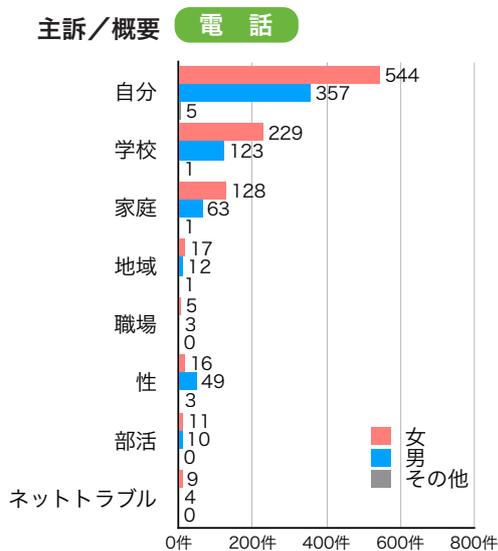
チャット 性別



子どもたちの電話離れが進んでいます。対応数は2017年の報告書のデータと比べると約半分に激減しています。また子どもたちのスマホは格安スマホが多いため、一般的な電話にかけることができません。そのような中で、対応できた電話のうち会話成立はわずか20%です。かかってくる電話のほとんどが、明らかな大人や大人かもしれないと相談員が感じたもの年齢不詳ものが多くあり会話が成立しません。そのような妨害ともいえる電話によって本当に必要な子どもたちの声を聞く機会を奪われている現実があります。チャットでは声が聞こえないため年齢不明は多いのですが、電話と比較すると会話成立の割合は全年齢で高くなっています。

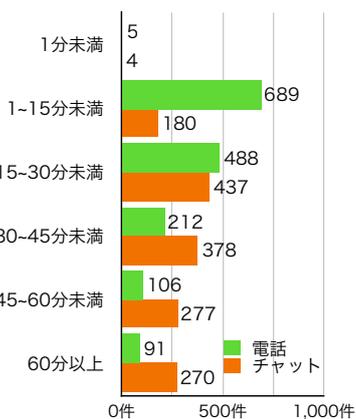
5. 主訴概要、通話時間、動機

大人と大人と思われるものは、これ以降のデータでは省いています。



通話時間

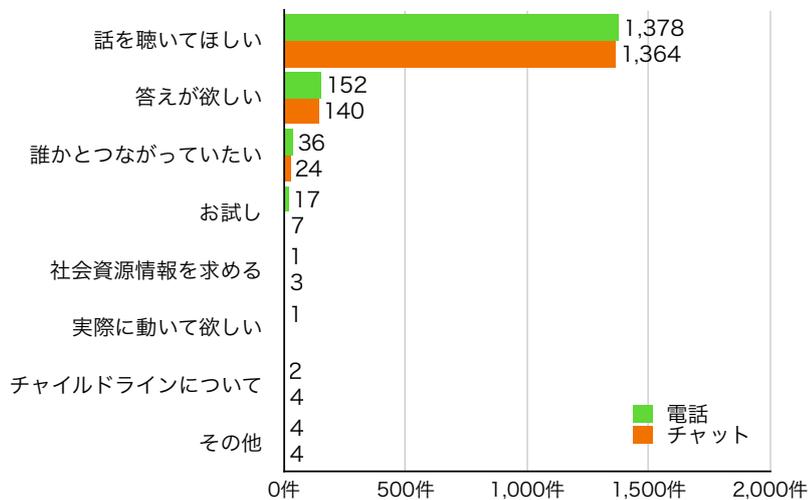
電話
チャット



電話は15分未満のものが43%と約半分です。比してチャットは全体に時間が長くかかり45分間を超える対応が35%もあります。このことからチャット相談員の増員が喫緊の課題になっています。

動機

電話
チャット



6. 年齢別主訴と関係性、主訴ごとの動機

年齢別／主訴（件）

電話

年齢／主訴	自分	学校	家庭	性	地域	部活	ネットラブル	職場	合計
未就学	4								4
小学校低学年	68	45	18	1	6				138
小学校高学年	98	92	35	2	7		1		235
中学生	214	73	41	30	5	6	3		372
中卒～18歳	504	142	95	34	12	15	9	8	819
不明	18	1	3	1					23
合計	906	353	192	68	30	21	13	8	1591

年齢別／主訴（件）

チャット

年齢／主訴	自分	学校	家庭	性	部活	ネットラブル	地域	職場	合計
小学校低学年	20	20	2	1			1		44
小学校高学年	239	172	63	18		2	3		497
中学生	348	146	78	15	19	4	3		613
中卒～18歳	228	61	42	19	8	5	3	3	369
不明	16	2	3	1			1		23
合計	851	401	188	54	27	11	11	3	1546

年齢別／主に誰とのことか（関係性）（件）

電話

年齢／関係性	自分自身のこと	友人・知人	実母	先生	実父	きょうだい	恋人	顧問・指導者	先輩・後輩	知らない人	義父母	祖父母	その他	合計
未就学	2	1				1								4
小学校低学年	66	46	8		8	6		1		1	1		1	138
小学校高学年	98	76	23	16	7	5		1	1	1	0	1	6	235
中学生	221	68	23	9	14	13	9	5				2	8	372
中卒～18歳	507	109	57	31	21	12	27	5	9	7	8	2	24	819
不明	19		2									1	1	23
合計	913	300	113	56	50	37	36	12	10	9	9	6	40	1591

チャット

年齢／関係性	自分自身	友人・知人	実母	先生	実父	きょうだい	恋人	先輩・後輩	義父母	祖父母	知らない人	顧問・指導者	その他	合計
小学校低学年	21	18	2			1		1					1	44
小学校高学年	262	139	44	20	11	8	3	1	0	0	1	1	7	497
中学生	351	119	58	21	25	7	6	4	4	1	3	2	12	613
中卒～18歳	245	48	23	13	12	3	7	2	2	3			11	369
不明	15	4	1							1			2	23
合計	894	328	128	54	48	19	16	8	6	5	4	3	33	1546

主訴／動機（件）

電話

主訴／動機	自分	学校	家庭	性	地域	部活	ネットラブル	職場	合計
話を聴いてほしい	794	290	176	57	26	19	9	7	1378
答えが欲しい	61	56	13	11	4	2	4	1	152
誰かとつながっていたい	32	1	3						36
お試し	15	2							17
チャイルドラインについて	1	1							2
社会資源情報を求める	1								1
実際に動いて欲しい		1							1
その他	2	2							4
合計	906	353	192	68	30	21	13	8	1591

主訴／動機（件）

チャット

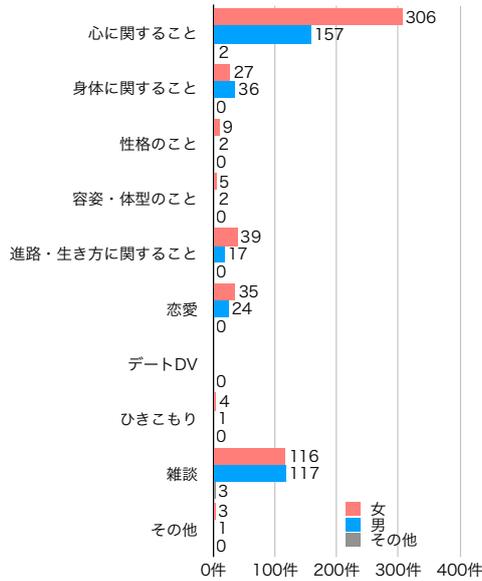
主訴／動機	自分	学校	家庭	性	部活	ネットラブル	地域	職場	合計
話を聴いてほしい	752	356	169	45	23	7	9	3	1364
答えが欲しい	65	43	17	5	4	4	2		140
誰かとつながっていたい	20	2	1	1					24
お試し	7								7
社会資源情報を求める	4								4
チャイルドラインについて			1	2					3
その他	3			1					4
合計	851	401	188	54	27	11	11	3	1546

※上記項目以外に「実際に動いてほしい」があるが、チャットは0件だった

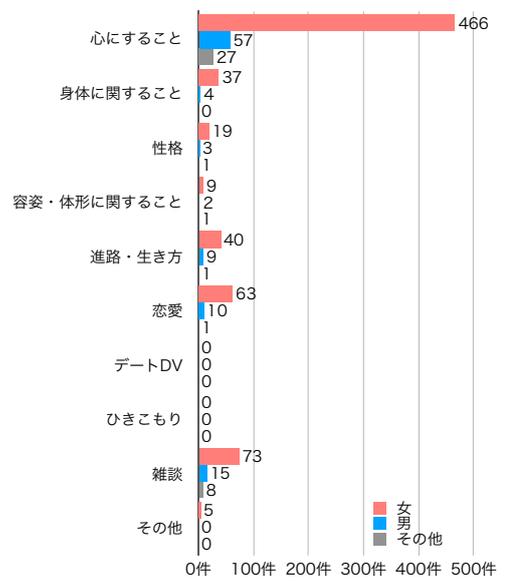
答えが欲しいより、気持ちを聴いて受け止めてくれることを願う子どもたちが圧倒的に多いようです。

7. 自分のこと

主訴 電話

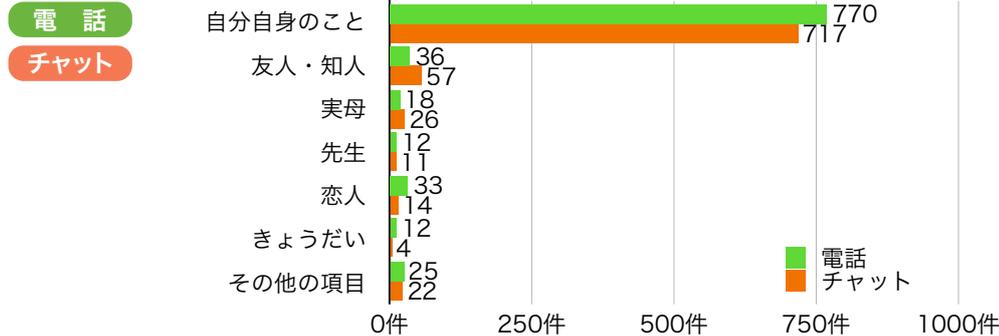


主訴 チャット



※「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

誰とのか



表している気持ち (件)

性別 / 気持ち	つらい・苦しい	不安	困惑・困っている	葛藤・迷い・戸惑い	イヤだ	うれしい・たのしい	憂鬱	自分に自信がない	孤独寂しさ	怒り・いらだち	楽しみ・期待	その他	合計
男	26	60	39	34	26	21	13	8	16	8	7	99	357
女	114	78	31	36	39	26	27	29	14	20	13	117	544
その他	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	5
合計	141	138	70	70	65	50	40	37	30	28	20	217	906

※性別の「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

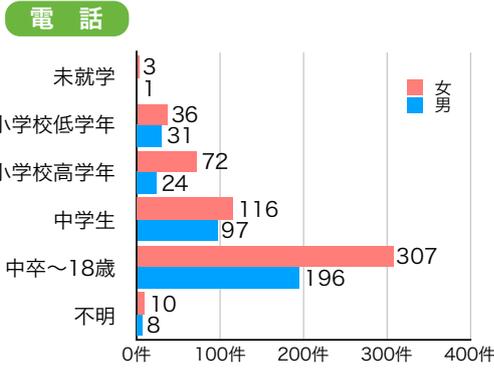
チャット

性別 / 気持ち	つらい・苦しい	不安	葛藤・迷い・戸惑い	困惑・困っている	イヤだ	恐怖・怖い	自分に自信がない	憂鬱	疲れ	悲しい	怒り・いらだち	孤独・寂しさ	楽しみ・期待	人目が気になる	その他	合計
男	16	13	13	11	9	3	8	3	1	2	3	2	3	2	11	100
女	181	116	66	56	53	33	27	31	20	15	13	9	9	10	73	712
その他	8	3	3	4	4	1	1	2	1	1	1	1	0	0	9	39
合計	205	132	82	71	66	37	36	36	22	18	17	12	12	12	93	851

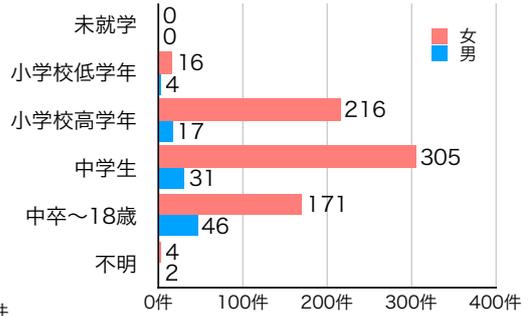
※性別の「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

子どもたちが表す気持ちはマイナスのものが圧倒的に多いことから、マイナスな感情だからこそ発散する場が必要なのだと分ります。前年度と比べ、孤独や寂しさを訴える子どもの増加が目立ちました。ネットの仲間には悩みを話せるけれど、身近な友達や大人の前では悩みなど無いようにふるまう子どもは多く、孤独を感じてしまうのかもしれませんが。また話を聞いてほしい子どもは、どの子も話し上手だとは限りません。チャイルドラインは気持ちにより添いながらアクティブリスニングを行い、子どもの本当の思いを引き出します。

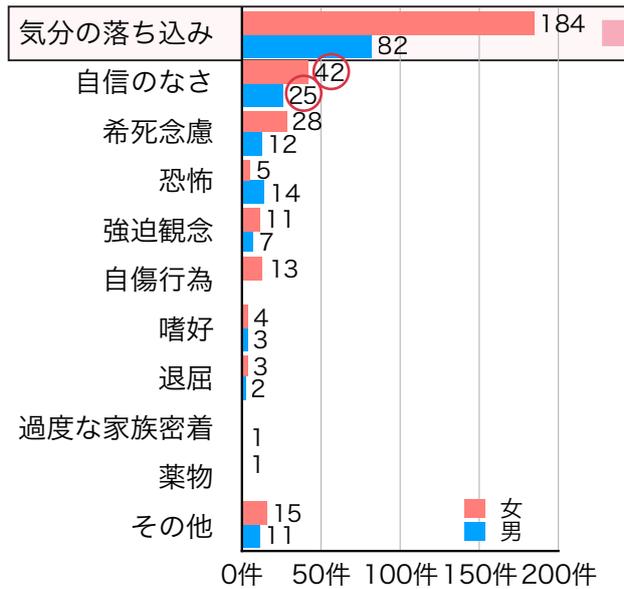
自分のこと
性別/年齢別



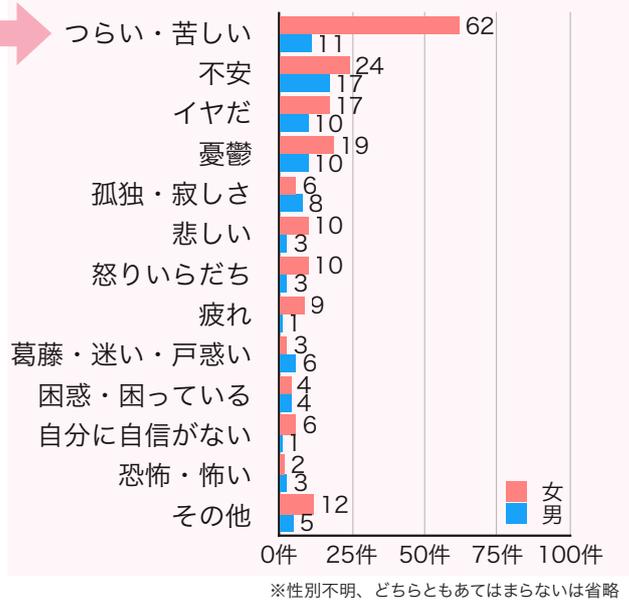
チャット



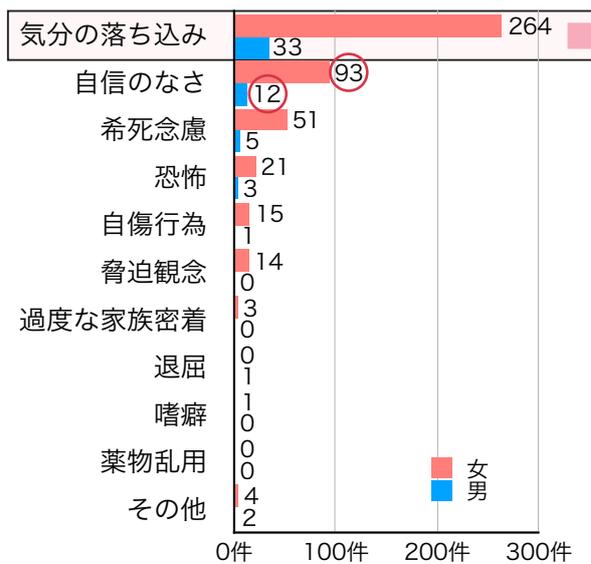
「自分のこと」の内「ころに関すること」の内容 電話



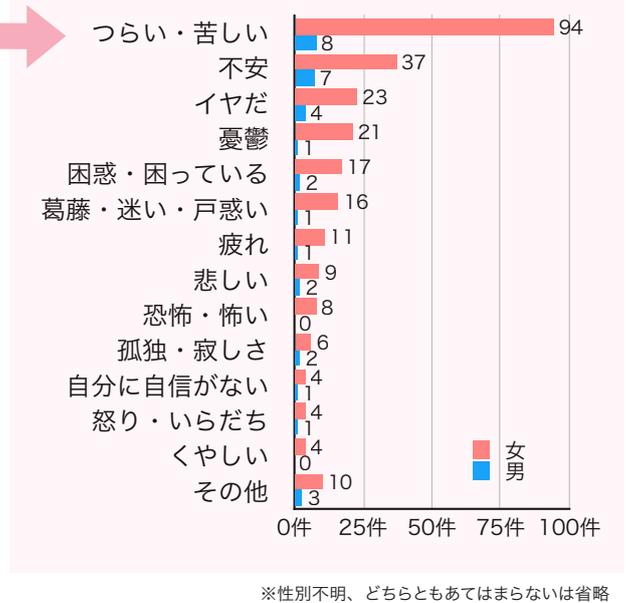
左記「気分の落ち込み」に絞った中の気持ち内訳 電話



「自分のこと」の内「ころに関すること」の内容 チャット



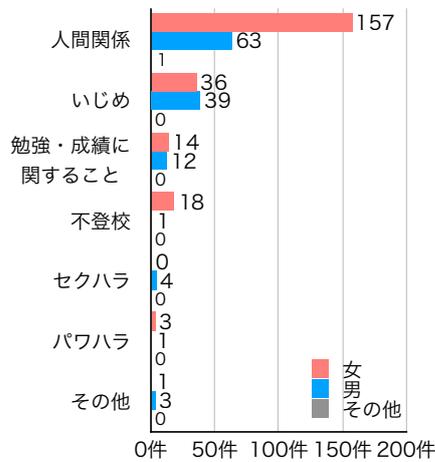
左記「気分の落ち込み」限定の気持ち内訳 チャット



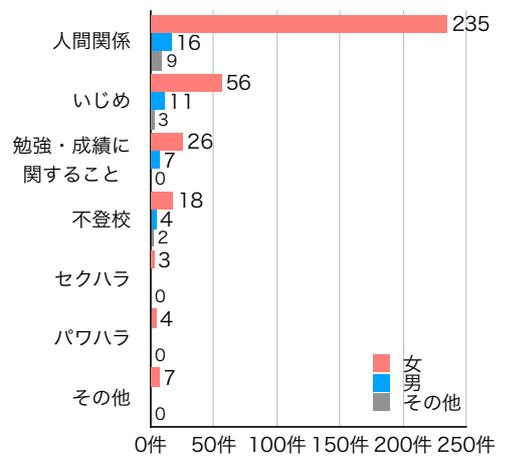
心に関することの詳細な内容を見ると、電話・チャットでは「自信のなさ」が第2位です（電話 14%、チャット 20%）。特に女子だけを見るとチャットの相談では 20%です。本人の捉え方もさることながら、周りのとりまく親や教師などの子どもに対する考え方はどうでしょうか。子どもたちの自信のなさの原因を考え、対策を考えなければと切に感じます。

8. 学校のこと

主訴 電話



主訴 チャット

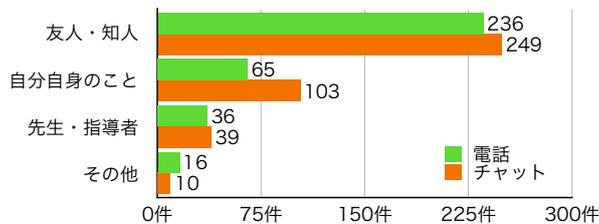


※「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

誰とのことか

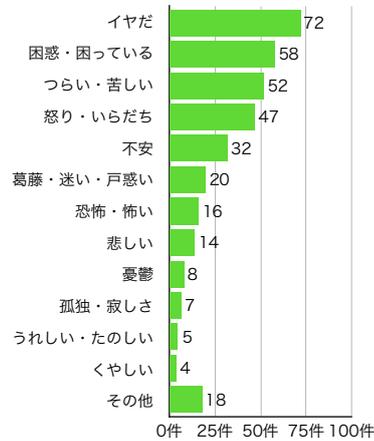
電話

チャット



表している気持ち

電話



表している気持ち

チャット

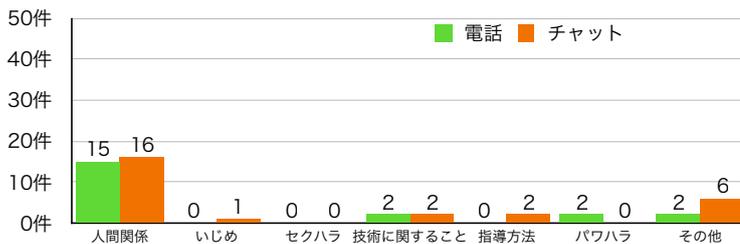


チャイルドラインはポジティブな感情もデータとして取っていますが、子どもたちがチャイルドラインを利用するときはマイナスの感情が強くなった時だとわかります。

部活の内容

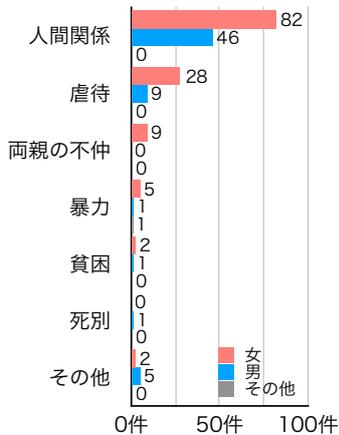
電話

チャット

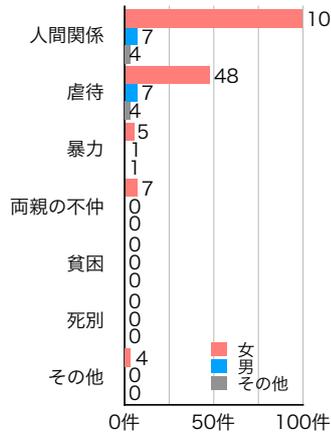


9. 家庭のこと

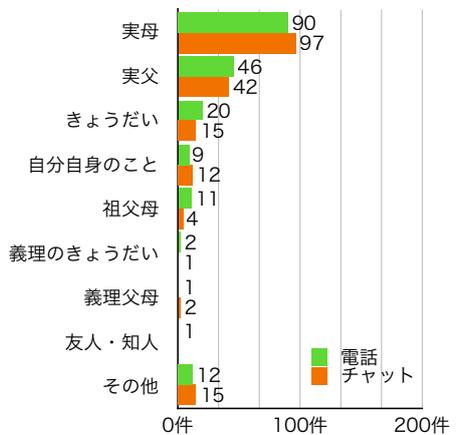
主訴 電話



チャット

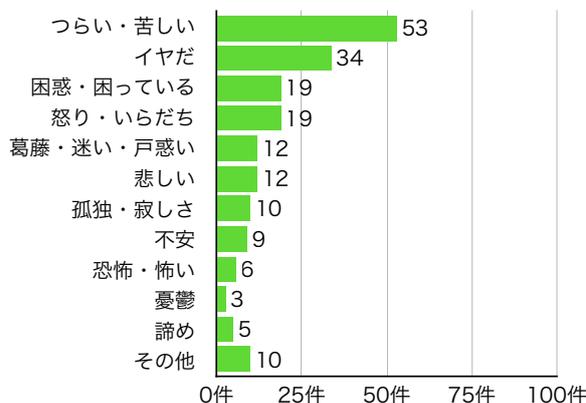


誰とのか 電話

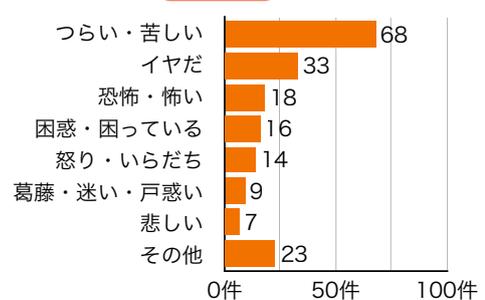


※「その他」は、不明・どちらにもあてはめられないの合計。

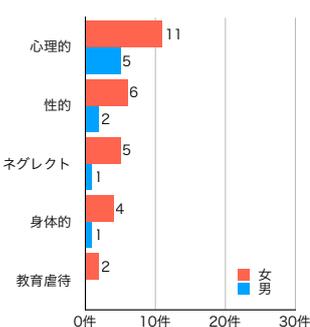
表している気持ち 電話



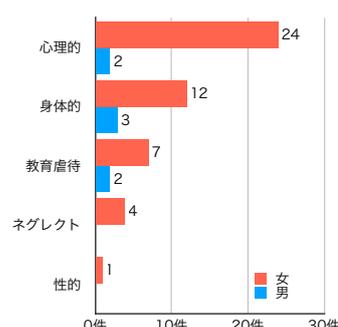
チャット



虐待 電話



チャット



※教育虐待=過度な押し付けや過度な期待

家庭の人間関係に関する主訴の中で、一番の味方であるはずの実父母についての悩みが一番多いという事実はどう捉えれば良いのでしょうか？大人は子どものためと言いながら自分たちの理想を押しつけてはいないでしょうか。子どもが過度な期待に応えられずに苦しんだり強い叱責を受けて傷ついたりすることは心理的虐待にあたり教育虐待とも言われて増加しています。他の虐待と同じように自己肯定感が持てず生きづらさを抱えることとなります。大人はその時々感情に流されず、自分の言動が子どもにどのような影響を与えてしまうのか、もっと想像しなければいけないと思います。

Voice

NPO 法人チャイルドライン支援センターホームページの、『つぶやく』への書き込まれた子ども達の声をご紹介します。
(公開の許可があるもの。原文まま)

【学 校】

- ▶ 私はボールが苦手です。体育の授業でハンドボールをやりました。私はボールが怖くてすでに泣いていたにも関わらず、先生はボールを強く投げて、強い口調で「何が分かんないの??」と、何度も何度も聞いてきました。小6にもなって、こんなことにもついていけないのは恥ずかしいけれど、みんなにおいていかれて怖かったです。
- ▶ 学校に行くのが嫌になる。決していじめられているわけではないし、嫌がらせとかされてるわけでもない、仲良い友達もいる、家族も優しい、ただ、勉強が嫌だから。勉強が難しくて、ついていけなくて置いてかれて…。先生や友達に聞いてばかり、自分で解ける問題なんて少ない。でも、もう少しだけ頑張ってみようかな!

【自分のこと】

- ▶ 私はなかなか人ともコミュニケーションが苦手で上手く喋れない、喋りたいって思っているけど僕が喋ると色んな人とトラブルになってしまう、辛い。皆はどうして人間関係が上手く出来ているの?いいな。
- ▶ 自分に何の取り柄もない。勉強も、運動も何一つ得意なことがない。どの教科もダメダメで、運動なんてうまくできるもの一つもない。趣味もないんです。何か一つでも熱中して取り組めるようなことがあればいいのに。自分自身の問題なんだってわかってる。でもどうにもできない。なんか涙出てきたw でもなんだかスッキリした。よくわかんないし、自分が言えることじゃないんだけどさ、まあ、頑張る?

【性の多様性】

- ▶ 可愛い子になりたい。けど一人称は俺、僕。可愛い子になりたいなら私のほうがいいのかなと思っただけど私に違和感があって。どうすればいいんだろう。
- ▶ 性別って必要??
- ▶ 自分がLGBTQ+のバイセクシャルなだけでみんなにバカにされないといけないの?そんなの人それぞれじゃん。

【インターネット】

- ▶ TikTokで顔を晒されてしまいました。アカウントは消してくれたんですけど、不安すぎてなにも楽しく感じないです。
- ▶ 昨日、ネットの子と通話した。お互い今何を思ってるか、何で苦しんでるか分かった。苦しんでるのは僕だけじゃなかった。良かったって思うけど、苦しんでいる人がいる事に僕は嫌だなって思っちゃうから。あの子が泣いているところを初めて見て胸がキリキリした(中略) みんなが楽しくて幸せに過ごせる日がきますように。乗り越えたら、大好きな人と抱きしめ合おう。僕は月1でしか会えない父さんとハグしたい。きもいかな、笑?

【家 庭】

- ▶ 親の言いなりやめたい。ずっと親の言いなりほんとは嫌なことでも言われて色々やって後悔するのやめたいな。親に色々聞かないと何もできなくなってきてる気がする。
- ▶ 愛情などのことを教えてもらわないで育ったからか自分自身がわからなくなった。
- ▶ 私は家族が嫌い。私が頑張ったって弟ばっか私のことなんて1ミリもみてないだろう。私が、ねだったりしたら「ちゃんとやってから言え」って言ってきたり、外に行ったら怒ってばっか。私の友達が転校するから、ライン交換したいって言ったら「お前がライン交換できるか!?!」「お前の願いばっか聞けねえよ」「スマホでラインしていいのは親だけだ!そんなのもわからないのか、バカ!」いつも私が言われるのはバカ。私のことなんてほめてくれない。

【受け手より】

- ▶ 子どもの声を聴いていて、自己肯定感の低い子どもの中で気になるのは自分自身に存在価値を見いだせていないということです。私なんていない方がいい。生きる価値がない。生きていても仕方がない。自分に対する不足感や欠乏感が生きる価値はないと感じてしまう。多くの大人がありのままの自分である子どもの気持ちをそのまま受け止める必要があると理解を深めていくことが大事だと感じています。



発行：（認定）特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

編集： 報告書作成チーム 白田典子・神山道代

発行日：2024年9月1日

問い合わせ先： E-mail: scl@jcom.home.ne.jp

FAX 048-486-7171

ホームページ： <https://saitama-cl.jp/>

DTP： ツナガルラボ